

① 発表論文 (H.28.4～H.29.3)

(様式3)

(1) 欧文

著者 (全員)、タイトル、雑誌名、巻、ページ (始—終)、掲載年

1. Kume K, Yasuoka Y, Sasaki T. :

Successful percutaneous retrieval of a guiding catheter tip that had unexpectedly become detached using a two-wire technique.

**Int J Angiol.** 2016; 25(05): e160-162.

2. Takamura M, Murai H, Okabe Y, Okuyama Y, Hamaoka T, Mukai Y, Tokuhisa H, Inoue O, Takashima SI, Kato T, Matsuo S, Usui S, Furusho H, Kaneko S.

Significant correlation between renal 123I-metaiodobenzylguanidine scintigraphy and muscle sympathetic nerve activity in patients with primary hypertension.

**J Nucl Cardiol.** 2017; Jan 9.

doi: 10.1007/s12350-016-0760-4. [Epub ahead of print] PMID: 28070734

(2) 邦文

著者 (全員)、タイトル、雑誌名、巻、ページ (始—終)、掲載年

② 学会発表 (H.28.4～H.29.3) (様式 4)

(1) 海外 (国内開催の国際学会を含む)

学会名、開催時期(年、月)、場所(都市名)、演者名(全員)、演題名

(2) 国内

学会名、開催時期(年、月)、場所(都市名)、演者名(全員)、演題名

第 3 回日本心血管脳卒中学会学術集会 2016 年 6 月 17 日 東京

1. 奥山裕司

シンポジウム 2 「NOAC (DOAC) 内服患者における脳卒中」

DOAC がワルファリンを超えるのも使い方次第

～予防効果が足りないことは実感しない～

第 25 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2016 年 7 月 7 日～9 日 東京

2. Yasuoka Y, Yamato M, Matsutera R, Kume K, Nishiyama H, Sasaki T.

Contributing Factor Associated with Clinical Outcome After Very Late Target Lesion Revascularization for SES. (S02-1)

3. Kume K, Yamato M, Matsutera R, Nishiyama H, Yasuoka Y, Sasaki T.

Successful Percutaneous Retrieval of a Guiding Catheter Tip Unexpectedly Become Detached Using a Two-Wire Technique.

4. Matsutera R, Yamato M, Kohama Y, Adachi H, Kume K, Nishiyama H, Yasuoka Y, Sasaki T.

A Successful Case of Unrecoverable Inferior Vena Cava Filter by Entangling Wire and Snare Catheter.

5. Yamato M, Yasuoka Y, Nishiyama H, Kume K, Matsutera R, Sasaki T.

A Case of a Good Clinical Course After PCI for Left Main Trunk True Bifurcation Lesion -The Optimal Strategy -

第 64 回日本心臓病学会学術集会 2016 年 9 月 23～25 日 東京

6. 安岡良典、砂山 勇、主代 悠、山戸将司、松寺 亮、久米清士、西山浩彦、奥山裕司、佐々木達哉

第一世代薬剤溶出性ステント SES の晩期再 PCI の成績に影響を及ぼす因子

7. 久米清士、砂山 勇、主代 悠、山戸将司、松寺 亮、西山浩彦、安岡良典、奥山裕司、佐々木達哉

Primary PCI を受けた ST 上昇型急性心筋梗塞症例においてループ利尿剤が退院後予後に与える影響についての検討

8. 松寺 亮、砂山 勇、主代 悠、山戸将司、久米清士、西山浩彦、安岡良典、奥山裕司、佐々木達哉

側副血行路の有無により対照的な転帰をたどった急性下肢動脈閉塞の二症例

9. 山戸将司、安岡良典、西山浩彦、久米清士、松寺 亮、佐々木達哉  
PCPS 導入症例の生存率に寄与する因子 ―当院での検討―

第 39 回日本高血圧学会総会 2016 年 10 月 2 日 仙台

10. 奥山裕司

シンポジウム 12 「高血圧の先進治療」

求心性自律神経と心血管系～腎動脈内アブレーションとの関連～

第 27 回日本心血管画像動態学会 2017 年 1 月 20～21 日 三重県津市

11. 砂山 勇、久米清士、主代 悠、山戸将司、松寺 亮、西山浩彦、流郷昌裕、星田義彦、安岡良典、奥山裕司、佐々木達哉

洞調律左室収縮能障害のうっ血性心不全加療中に急性心筋梗塞を発症し

その後左室心尖部血栓を形成した 1 例

第 121 回日本循環器学会近畿地方会 2016 年 7 月 16 日 京都

12. 砂山 勇、久米清士、主代 悠、山戸将司、松寺 亮、西山浩彦、安岡良典、奥山裕司、佐々木達哉

血管新生阻害薬ベバシズマブによる心毒性が心機能低下の原因と考えられた多臓器転移を伴う直腸癌の一例

第 122 回日本循環器学会近畿地方会 2016 年 11 月 26 日 大阪

13. 砂山 勇、久米清士、主代 悠、山戸将司、松寺 亮、西山浩彦、安岡良典、奥山裕司、佐々木達哉

AMI による心停止の Primary PCI に伴う抗凝固および抗血小板療法が起因すると思われる特発性肝出血の 1 例

③ 研究会等での発表 (H.28.4～H.29.3) (様式5)

研究会名、開催時期(月、年)、場所(都市名)、演者名(全員)、演題名

近畿心血管治療ジョイントライブ(KCJL) 2016 2016年4月21～23日 京都

1. 松寺 亮、砂山 勇、主代 悠、山戸将司、久米清士、西山浩彦、安岡良典、奥山裕司、佐々木達哉

側副血行路が存在しないために浅大腿動脈閉塞を繰り返し、肢切断に至った一症例

2. 山戸将司、奥山裕司、安岡良典、西山浩彦、久米清士、松寺 亮、主代 悠、砂山 勇、佐々木達哉

分離脱落した guiding catheter の tip を 2 wire technique にて回収した一例

第12回 MOCHOT K-SAMITO 2016年6月25日 大阪

3. 安岡良典

心室性不整脈の管理と心血管イベント抑制を目指した治療

4. 砂山 勇

心毒性を呈した多臓器転移を伴う直腸癌の特徴

第13回 MOCHOT K-SAMITO 2016年10月29日 大阪

5. 砂山 勇

ACSの緊急PCI後に発生した spontaneous bleeding の2症例

Complex Peripheral Angioplasty Conference 2016 2016年11月26日 愛知県豊橋市

6. 松寺 亮、砂山 勇、主代 悠、山戸将司、久米清士、西山浩彦、安岡良典、奥山裕司、佐々木達哉

回収困難な下大静脈フィルターをワイヤーとスネアを用いて回収に成功した一症例

④ 総説・著書数 (H.28.4～H.29.3)

(様式 6)

(1) 欧文

著者、タイトル、編集者名、書籍名、出版社名、ページ、出版年

1.

↓

(2) 邦文

著者、タイトル、編集者名、書籍名、出版社名、ページ、出版年

1. 企画監修 奥山裕司

特集 心房細動と抗血栓療法 エビデンスに裏付けられた臨床現場での実践の極意  
Q&A

薬局 Vol.67 No.7 pp.8-135 2016

2. 奥山裕司

特集「抗血栓療法の今」を語る ワルファリンの強みと弱み  
診断と治療 Vol.104 No.5 pp 555-559 2016

3. 奥山裕司

なんでも健康相談「不整脈」について教えてください  
NHK テキスト 今日の健康 7 p.116 2016

4. 奥山裕司

ワルファリンから DOAC への移行および DOAC からワルファリンへの移行  
Heart View Vol.21 No.1 pp.82-87 2017